



④ 科目名	経済学史
④ 科目名/Subject	Economic Thought
④ 担当教員	古谷 豊
④ 担当教員/Instructor	YUTAKA FURUYA
④ 曜日・講時/Day/Period	後期 水曜日 2講時 後期 金曜日 1講時
④ 対象学年 /Eligible Participants	3・4
④ 科目ナンバリング /Course Numbering	EAL-ECO310J
④ 単位数/Credit(s)	4

④ 授業の目的と概要 /Object and summary of class	<p>Google g classroom: td3jbwo</p> <p>経済学はどのような歩みを経ることで、こんにち私たちが学んでいるような経済学の姿になったのかを見ていきます。そのことを通して、経済学をより深く・立体的に理解できること。経済学とそのほかの学問領域とのつながりを理解すること。そもそも学問がどのようなものかについて理解を深めること。経済学の様々な授業や科目の関係について理解すること。このようなことを目指していきます。</p> <p>In this course we will go through the history of economics.</p>
④ 学修の到達目標 /Goal of study	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済学のこれまでのあゆみを知ること</li> <li>・ それを通して「経済学とはなにか」「そもそも学問とはなにか」について理解を深めること</li> <li>・ そのためにも経済学(学問)を過程的・発展的に見てとれる力を育むこと</li> </ul> <p>By taking this course students will be able to learn about the various schools of economic thought.</p>
④ 授業内容・方法と進捗予定 /Contents and progress schedule of the class	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度はオンライン(リアルタイム)で開講します。</li> <li>・ Google Classroomを使います。最新情報などこちらで確認してください。</li> <li>・ オンライン講義は、Google Meetを使う予定です。</li> <li>・ 授業内容は以下の通りです。</li> <li>(1) 古代ギリシャにおける学問の誕生</li> <li>(2) 古代の経済学、その二重構造</li> <li>(3) 中世における学問と経済論</li> <li>(4) 新しい国家形態の模索</li> <li>(5) 新しい国家が到達した経済論</li> <li>(6) 商業や貨幣についての追究</li> <li>(7) 近代の学問と経済学の体系化</li> <li>(8) アダム・スミスの学問体系と『国富論』</li> <li>(9) 古典派経済学の展開</li> <li>(10) 古典派経済学への反動</li> <li>(11) マルクスの反撃</li> <li>(12) 別方向での古典派経済学の作りかえ</li> <li>(13) ケインズ革命</li> <li>(14) ケインズの学説の組み換えと普及</li> <li>(15) ルーカスの挑戦</li> <li>(16) 21世紀における経済学</li> <li>・ 一方通行の授業に終始してしまわないように、履修生が授業に参加する方法を(履修人数を見て)調整します。</li> </ul> <p>This course will be held online. We will go through the history of economic thought from the ancient times to the twenty-first century.</p>
④ 実務・実践的授業 /Practical business ※○は、実務・実践的授業であることを示す。 /Note: "○" Indicates the practical business	
④ 使用言語 /Language Used in Course	日本語
④ 成績評価方法 /Evaluation method	提出物等で60%、小テスト及び学期末の理解度確認テストで40%
教科書	

おおよび参考書 /Textbook and references	No	書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
	1.	『経済学の歴史』	中村他	有斐閣	2001		参考図書
	2.	『若い読者のための経済学史』	キシテイニー	すばる舎	2018		参考図書
	3.	『詳説世界史図録』		山川出版社	2018		参考図書
 関連URL /URL							
 授業時間外学修 /Preparation and Review	<p>その日のうちに、授業中にとったノートをもとめて、どのような流れだったかを簡単におさらいしておくことを勧めます。教科書はとくにありません。配布物を配ります。その他、高校の世界史図録(例えば『山川詳説世界史図録』など)は、手元にあると理解の助けになるでしょう。『若い読者のための経済学史』は読み物として分かりやすく、とっつきやすいです。『経済学の歴史』は重商主義以前の記述はありませんが、分かりやすく書かれたテキストで参考になると思います。</p>						
 添付ファイル /Attached File							
 その他 /In addition	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Google Classroomで最新の情報を確認してください。</li> <li>・ 初回はいきなり10月1日(金)の8時50分からですが、履修することを考えている人は忘れずに出席するようにしてください。(Google Meetでの開催です。URLなどはGoogle Classroomで確認。)</li> <li>・ スマホや小さいタブレットなどでの視聴はお勧めしません。オンライン授業は画面が教室ですので、目一杯広く使います。ノートパソコン(もちろん、デスクトップでも結構です)でつないで、ノートと筆記用具を用意して、授業に臨んでください。(初回の授業でこの辺りについても詳しく話します。)</li> <li>・ 本講義のためにも、また専門課程での学び全般のためにも、新聞や本(専門書や一般書だけでなく、小説も)等を読んで、バランスのとれた豊かな一般教養を身につけることを期待します。</li> </ul> <p>履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。</p>						
 更新日付 /Last Update	2021/06/07 16:54						
	<p>1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。</p> <p>One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical training, and practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.</p>						